



## 日本銀行のレポートから

日本銀行は、1月、4月、7月、10月の政策委員会・金融政策決定会合において、先行きの経済・物価見通しや上振れ・下振れ要因を詳しく点検し、そのもとでの金融政策運営の考え方を整理した「経済・物価情勢の展望」（展望レポート）を決定し、公表しています。また、展望レポートの内容を、より幅広い読者に伝えるための取り組みとして、そのポイントをイラストとともに簡潔に整理した資料（ハイライト）を公表しています。本稿では、2023年7月の展望レポート（基本的見解は7月28日、背景説明を含む全文は7月31日公表）のハイライトをご紹介します。

\*全文は、日本銀行ホームページに掲載されていますので、ご関心のある方は、ぜひそちらもご参照ください。

<https://www.boj.or.jp/mopo/outlook/index.htm>



### 「経済・物価情勢の展望」（展望レポート・ハイライト）

2023年7月



**日本経済は  
緩やかな回復を続ける**

日本経済は、海外経済の回復の鈍さにより下押しされま  
すが、消費の増加などに支え  
られて、緩やかな回復を続け  
ていきます。

**物価は減速したあと  
再び緩やかに上昇していく**

消費者物価の前年比は、こ  
れまでの輸入物価の上昇を起  
点とする価格転嫁の影響が弱  
まることで減速したあと、経  
済が改善し、賃金上昇率も高  
まるもとで、再び緩やかに上  
昇していきます。





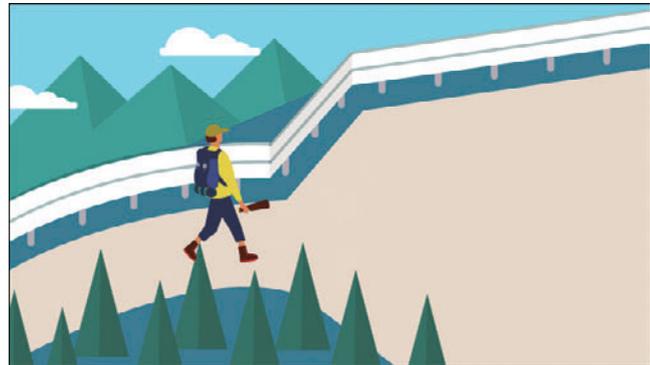
### 日本経済・物価を巡る 不確実性は高い

海外の経済・物価動向、資源価格の動向、企業の賃金・価格設定行動など、日本経済・物価を巡る不確実性はきわめて高い状況です。また、金融・為替市場の動向と日本経済・物価への影響にも十分注意を払う必要があります。



### 強力な金融緩和を 継続する

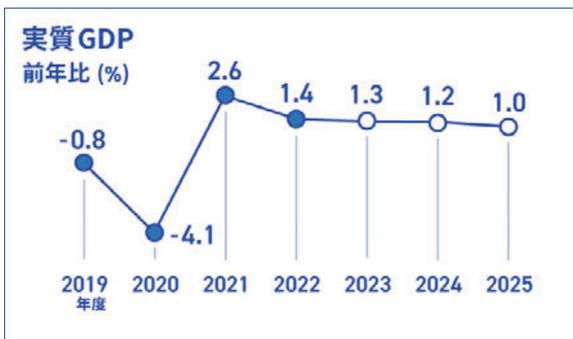
賃金の上昇を伴う形で、二%の「物価安定の目標」の持続的・安定的な実現を見通せていないため、粘り強く金融緩和を継続していきます。



### YCCの運用を柔軟化

イールドカーブ・コントロール（YCC）の運用を柔軟化し、YCCによる金融緩和の持続性を高めることを決定しました。

## 政策委員の経済・物価見通し



(注) ●は実績値、○は見通しです。